

令和 7 年 9 月 16 日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

市街地における運行本数の多い路線での 大型バスによる自動運転レベル 4^{※1} 実装に向けた取組み

株式会社オリエンタルコンサルタンツ(所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則)は、埼玉県さいたま市が取り組む自動運転バスのレベル 4 実装に向けた実証実験を支援します。

実証実験は、国土交通省「地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」に採択されたさいたま市が実施する事業であり、特に運行本数が多いバス路線を対象として大型バスによる自動運転レベル 4 の実装を目指した課題検証に取り組むものです。

当社は、さいたま市からの業務委託を受け、実証実験に関わる計画策定や運営支援、課題の検証や効果計測を担当します。

今後も引き続き、自動運転技術を活用した公共交通サービスの実装に向けた支援を通じ、公共交通を取り巻く課題解決や、地域特性に応じた交通まちづくりを推進して参ります。

【実証実験の目的】

さいたま市内の高齢化率は2045年に3割を超える予測となっており、公共交通サービスの重要性が今後更に高まることが想定されます。また、2024年問題や働き方改革等の影響でバス運転手の確保も困難となっており、同市内の一部バス路線において廃止や減便が行われていることから、運転手不足への対応が急務となっています。こうした状況を踏まえ、さいたま市は公共交通サービスの維持・向上を目指すために、自動運転バスの導入を目指しています。まずは、市内でも特に運行本数が多いバス路線を対象に、大型バスの自動運転レベル4の実装を目指した実証実験（令和7年度は自動運転レベル2^{※2}）を行い、「経営面」、「技術面」、「社会受容性面」の視点から課題を明らかにすることで、最終的には市内全域の導入を目指して取組みを行っていきます。

【実施体制について】

事業実施主体	: さいたま市
事業推進に向けた業務委託先	: 株式会社オリエンタルコンサルタンツ
協力団体	: A・Drive株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、 国際興業株式会社、西武バス株式会社

【株式会社オリエンタルコンサルタンツの主な役割】

- ①実証実験に関する計画策定、運営支援
- ②「経営面」「技術面」「社会受容性面」に関する検証、効果計測
- ③社会受容性の醸成に向けたプログラムの計画立案 等

※注記 1) 自動運転レベル 4：特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運転運行装置が運転操作の全部を代替する状態

2) 自動運転レベル 2：アクセル・ブレーキ操作およびハンドル操作の両方が、部分的に自動化された状態（ドライバーが乗車）

【実験車両】

実験車両：いすゞ自動車株式会社製大型バス「エルガ」（自動運転仕様）

車両定員：定員 29 名（自動運転時・着座の場合）（実証実験中の定員は 23 名）

最高速度：40km/h（自動運転走行時）



実証期間：2025 年 9 月下旬頃から準備走行開始予定（試乗は 10 月下旬以降を予定）

運行区間：北浦 03 系統（北浦和駅西口～埼玉大学）

【運行ルート】



＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・日原・丸山・門司